

2022年度 日本工学院専門学校											
建築学科											
建築・インテリア設計実習 1											
対象	2 年次	開講期	前期	区分	選択	種別	実習	時間数	60	単位	2
担当教員	有田 佳生 他			実務経験	有	職種	建築設計／一級建築士				
担当教員紹介											
大学卒業後、イギリスのAAスクールに留学し建築を学ぶ。帰国後、外国人建築家の建築設計事務所にて設計実務を習得し、独立。住宅や店舗を中心とし設計・監理業務を行っている。											
授業概要											
この授業では、まず自分で計画を立て、それをもとに法規をチェックし法規に適合した計画にし直す。更に構造計算を行い構造にも適合させる。この一連の作業をすることによりPDCAサイクルを体験し、住宅摂家のノウハウを習得する。自分の作品を題材にすることにより理解度を高めることを目指す。											
到達目標											
この科目では、具体的な設計体験を通して住宅設計の計画の大切さを再確認し、法規をチェックすることにより社会における建築の重要性を理解し、構造計算や軸組模型を製作することにより安全と快適性の相反する要素を融合する難しさを学ぶ。それらの要素を総合的にまとめあげる力をつけることを目標とする。											
授業方法											
教員と学生、学生と学生のやり取りを重視する。まずは人の意見を受けとめることが社会人としてのスキルとなる。また自分で調べ解決する能動的な行動を大前提とする。											
成績評価方法											
試験・課題	50%	成果物を総合的に評価する									
レポート	15%	調べ上げる力・考える力を身に付けさせるために実施する（レポートを含む）									
成果発表（口頭・実技）	15%	プレゼンテーション能力を評価する									
平常点	20%	授業態度によって評価する									
履修上の注意											
・全ての課題提出かつ3/4以上の出席を持って合格とする。理由のない遅刻や欠席は認めない。 ・遅刻、早退、途中退室等の場合は、必ず教員に報告すること。 ・授業中の私語や受講態度、および教室での飲食、器物損壊などには厳しく対処する。 ・課題の進捗状況に応じて、板書等で説明したり、資料を配布する。											
教科書教材											
第3版コンパクト建築設計資料集成（丸善）／配布資料											
回数	授業計画										
第1回	条件整理			敷地条件、施主の要望、法規理解／スタディー							
第2回	間取りスタディ			スタディ作成／複数案の展開							
第3回	間取りスタディ			スタディ作成／複数案の展開							
第4回	間取りスタディ			スタディ作成／複数案の展開							
第5回	間取りスタディ			スタディ作成／複数案の展開							

2022年度 日本工学院専門学校		
建築学科		
建築・インテリア設計実習 1		
第6回	間取りスタディ	スタディ作成／複数案の展開
第7回	配置図の作成	図面の作成
第8回	平面図の作成 1	二級建築士製図試験レベルの作図
第9回	平面図の作成 2	二級建築士製図試験レベルの作図・完成
第10回	矩形図の検討	構造部材の検討・詳細図
第11回	断面図	天井高・階高・最高高さ決定
第12回	立面図	窓の位置・大きさ／立面図の作成
第13回	面積表作成・法規確認	建ぺい率、容積率、斜線制限の確認
第14回	採光・換気量の確認	採光計算、換気計算の確認
第15回	図面提出	修正・完成提出